

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
作品研究 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	2
担当教員	広瀬 眞之			実務経験	有	職種	音楽家				
担当教員紹介											
ジャズギタリスト、コンポーザー。1979年にCBSソニーからレコードデビュー。1989～90年渡米。帰国後はDAW分野でも活動を始めナンジャタウ音楽、TV番組音楽などを制作。近年はcotoricoプロジェクトや自社レーベル運営などプロデューサー活動も多い。著書に“ジャズ100年史”“Professional MIDI Tips100”など。											
授業概要											
受講学生は「最高の娯楽エンタテインメントのひとつであるポピュラーミュージック」を、その各時代の構成要素を時系列的に整理整頓し直すことによりその全体像の分析把握を可能にする。また表面に現れた音楽事象だけでなく、その社会背景への理解を深める。											
到達目標											
受講学生がポピュラーミュージックの全体像を理解把握する過程を経ることで、人間社会との密接な関係性やさらにはマーケットの変遷・動向にも意識を向けられるようにする。											
授業方法											
この授業では、なるべく多くの参考資料としての映像・音源を視聴することで具体的な授業を進める。基本的には講義形式で行うが、一方通行に終始することなく、学生個々の思考を促すために随時間いかけと返答という授業中での行動を通して、学生の積極的思考を醸成していく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では、まずは未知の情報に対して積極的な興味を持つこと。そして講義を通して紹介解説される事象に対して各自考察・意見形成していくことに留意して欲しい。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	音楽産業黄金の1970年代到来。その基本的な把握とカテゴリー発展を知る										
第2回	Rockの発展形態の分析把握。カテゴリーの細分化現象や様式美の完成、U. S. A. やU. KRockの展開を知る										
第3回	よりブラックに！Funkの出現。その特徴と社会背景を知る										
第4回	成熟する音楽。AORサウンドの発展を知る										
第5回	HipHopの出現とビート感の変化。デジタル時代とは？										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
作品研究 2	
第6回	レコード盤からCDディスクへ。技術革新がもたらした新時代の基本的な把握
第7回	ホームビデオ普及による音楽シーンの変革を確認理解
第8回	技術革新が貢献したアンブラグドブームの把握
第9回	HipHop、Rap…アンダーグラウンドジャンルの浮上現象と時代性を基礎的に理解
第10回	PC時代の本格的到来とデジタル機器の発展がもたらした新たなサウンド世界の基礎分析
第11回	PC時代の本格的到来とデジタル機器の発展がもたらした新たなサウンド世界の基礎分析続編
第12回	国内編では前回まで学んで得た時系列に対応させて理解を深めていく。1 回目は1960年代前半までの国内音楽シーンの基礎的知識を習得
第13回	1960年代前半から半ば過ぎまでのシーンを分析。国内編では特に前回までの時系列に対応させて理解を深める
第14回	フォークソングブーム到来、現在に続くシンガーソングライティング時代の始まりを理解
第15回	国内特殊事情としてのバブル時代からバブル後の音楽シーンへの流れの分析と把握。そして現在へと繋がる流れを確認する。